

館長	小松 かつ子 (9月～)	Professor	Katsuko Komatsu (Ph.D.)
(特命准教授)	伏見 裕利 (~8月)	Associate Professor	Hirotohi Fushimi (Ph.D.)
技能補佐員	出口 鳴美	Research Assistant	Narumi Deguchi

◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

◇活動概要

I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 29,000 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベース (以下、DB) について順次、生薬標本情報並びに学術情報を更新、整理している。

今年度は、民族薬物 DB システムを Linux サーバで再構築し、オンプレミスからクラウドに移行した。また、内容を改変して検索の便を図った。

II) 薬草古典データベースの構築

中国薬草古典「証類本草」データベース：『証類本草』に記載されている生薬 11 品目を新たに公開した。また、I と同様に証類本草 DB システムを Linux サーバで再構築し、オンプレミスからクラウドに移行した。

III) 生薬標本の「二次元バーコード」化

当資料館に保存されている生薬標本の内、主にアーユルヴェーダ生薬約 1,000 点について、保管場所情報を示す二次元バーコードのシールを添付するとともに、二次元バーコード用 DB に登録した。

IV) 「民族薬物資料館」ニュースレターの刊行

当館の活動や館内の展示物などを紹介したニュースレター (第 19 号) を刊行した。

V) 「ひらめき☆ときめきサイエンス事業」の実施

日本学術振興会助成事業による「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI～」として、平成 29 年 8 月 5 日 (土) に民族薬物資料館で中学生・高校生を対象とした和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ！～和漢薬体験してみよう～」を実施した。参加者は 21 名 (高校生 4 名、中学生 17 名)。

VI) 古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究

江戸時代の古典籍『広恵濟急方』に記載されている生薬 139 種類について、救急療法を抜き出してまとめ、それらを民族薬物 DB に収載し公開した (国文学研究資料館との共同研究)。

VII) 一般公開

第 32 回民族薬物資料館一般公開：平成 29 年 11 月 25 日 (午前 9 時 30 分～午後 4 時)

1日2回各1時間、「補中益気湯」、「十全大補湯」、「大建中湯」などの頻用漢方処方配合生薬を特別展示して解説を行い、続けて館内を案内した。併せて、東京農業大学の御影雅幸教授を招き、和漢薬講座『生薬の国産化について』を開講した。来館者は65名。

◇学会報告（*：特別講演，シンポジウム，ワークショップ等）

- 1) 小松かつ子. 『広恵濟急方』に見る江戸時代の民間救急療法. 大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」第3回日本語の歴史的典籍国際研究集会；2017 Jul 28-29；東京.
- 2) 小松かつ子. 『広恵濟急方』に見る江戸時代の民間救急療法. 日本薬史学会2017年会；2017 Oct 28；埼玉.

◇原著論文

- 1) Zhou S. S., Xu J., Tsang C. K., Yip K. M., Yeung W. P., Zhao Z. Z., Zhu S., Fushimi H., Chang H. Y., Chen H. B.: Comprehensive quality evaluation and comparison of *Angelica sinensis* radix and *Angelica acutiloba* radix by integrated metabolomics and glycomics. J Food & Drug Anal., 2018. doi: 10.1016/j.jfda.2018.01.015.

◇その他

- 1) 伏見裕利. 「日本語の歴史的典籍の共同研究ネットワーク構築計画」. 国文学研究資料館ニュースレター. 2017 Jan; 7:6-7.
- 2) 小松かつ子. 江戸の医書今に生かす. 北日本新聞. 2017 Jun 18.

◇共同研究

国内

- 1) 相田満, 岩橋清美 (国文学研究資料館): 古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究, 2015~2017.

◇研究費取得状況

- 1) 日本学術振興会主催, ひらめき☆ときめきサイエンス, 和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ! ~和漢薬体験してみよう~」, 32.9万。

◇記録

I) 見学者 (2017年4月1日 ~2018年3月31日)

来館者総数: 835名 (日本人 676名, 外国人 159名)

案内総回数: 74回 (日本人 57回, 外国人 17回)

外国人の国名(人数) 台湾(40), 中国(34), ミャンマー(25), ベトナム(21), 韓国(11), タイ(5), アフガニスタン, アメリカ, インドネシア, ザンビア, スリランカ, ハンガリー, ブラジル, モンゴル(各2), インド, タンザニア, パプアニューギニア, フィリピン, フランス, マラウイ, モルドバ(各1)

主な来館者の所属先 【海外】台湾 (開南大学), 中国 (青海省技庁, 北京大学, 内蒙古大学, 広東薬科大学他), ミャンマー (保健・スポーツ省他), 韓国 (ソウル大学他), ベトナム (国立薬物研究所他), タイ (コンケン大学), ハンガリー (大使館), 国際厚生事業団他

【国内】文部科学省，日本学術振興会，北陸経済連合会，国公立大学 8 校，国内公立高校 4 校，富山市民大学講座，富山市，他

Ⅱ) 民族薬物データベース (2017 年 4 月 1 日 ~2018 年 3 月 31 日)

アクセス数 : 15,791 件

Ⅲ) 証類本草データベース (2017 年 4 月 1 日 ~2018 年 3 月 31 日)

アクセス数 : 7,759 件

専門検索登録者数 : 47 名 (全 382 名)